

教えて 学んで 楽しもう

学びのトレジャー

Vol.8

2024年3月22日

スタジオジブリ作品を English SDHで

新潟県上越市立八千浦中学校 校長

中野 博史 先生

十数年前、ホームステイで来日中の韓国人中学生と出会いました。その子が流暢に日本語を話すので、どのように日本語を学んだのかを尋ねると、日本のアニメが大好きな親の影響で、乳児の頃からスタジオジブリ作品を何度も繰り返し見て、自然に日本語を覚えたとのこと。親族等に日本人がいるわけでもなく、学校等で日本語を勉強したことがなくても、これだけ日本語を話せるのかと本当に驚かされました。

我が子にもその方法で英語を学ばせようと、早速、海外で販売されている英語吹き替え版のスタジオジブリ作品で、聴覚障害者向けの英語字幕(English Subtitles for the Deaf and Hard of Hearing : 以下、English SDH)も選択できるブルーレイをインターネットで数点購入しました。



残念ながら、なかなか親の思うようにはいかず、気がつけば自分の英語授業の教材となっていました。

スタジオジブリ作品はテレビでよく放映されており、多くの子どもが鑑賞したことがあるため、物語や文化的な背景の説明が不要です。そのため、一場面を切り取って授業の題材にすることに適しています。例として、「となりのトトロ（英題：My Neighbor TOTORO）」で、サツキがトトロと初めて出会う、雨が降るバス停の場面のサツキの台詞を紹介します。

<日本語音声>

「トトロ？」
「あっ、待ってね。」
「貸してあげる。」
「早く。メイが落ちちゃう。」
「こうやって使うのよ。」

<英語字幕>

“Are you Totoro?”
“Wait a minute.”
“You can use this.”
“Take it, Mei is slipping off.”
“Hold it like this.”

<English SDH>

“Totoro?” (PLINK)(GRUMBLING)
“Oh, wait a minute.”
“Here, try this.”
“Hurry. Mei is slipping.” (GRUNTS)
“Hold it over your head, like this.” (GIGGLES)

English SDHは、実際に吹き替えられた英語の台詞そのものであり、標準の字幕とは英語の表現が異なっていることが多く、オノマトペなども記述されています。そのため、2つの字幕を見比べて英語表現力を磨いたり、英語の台詞を聞き取り、English SDHで確認するなど、リスニング力を鍛えたりすることもできます。また、何度か英語音声とEnglish SDHで視聴した後に字幕をオフにしてShadowingをしたり、音声をオフにして声優に挑戦したりすることもできます。中学生にはちょっと高度な英語学習に思われるかもしれませんが、台詞のほとんどが中学生レベルの英語です。し、何よりもスタジオジブリ作品の魅力が生徒のモチベーションをカバーしてくれますので、誰もが楽しく英語を学べます。

開隆堂